



## 2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年5月14日

上場会社名 株式会社中央製作所 上場取引所 名  
 コード番号 6846 URL <https://www.chuo-seisakusho.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 邦之  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 服部 光生 TEL 052-821-6166  
 定時株主総会開催予定日 2026年6月24日 有価証券報告書提出予定日 2026年6月25日  
 配当支払開始予定日 2026年6月25日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期の業績 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	4,016	△17.8	130	△44.6	137	△43.7	201	△9.0
2025年3月期	4,889	25.2	235	72.2	245	70.5	221	21.8

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	260.52	—	8.2	2.7	3.3
2025年3月期	286.28	—	9.7	4.9	4.8

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 一百万円 2025年3月期 一百万円

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	5,293	2,549	48.2	3,299.73
2025年3月期	5,009	2,356	47.0	3,049.95

(参考) 自己資本 2026年3月期 2,549百万円 2025年3月期 2,356百万円

## (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	△299	△460	348	954
2025年3月期	530	△203	△26	1,366

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 42.00	円 銭 42.00	百万円 32	% 14.7	% 1.4
2026年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00	30	15.4	1.3
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	55.00	55.00		31.5	

※2027年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当35円00銭 創立90周年記念配当20円00銭

## 3. 2027年3月期の業績予想 (2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,150	18.9	70	890.6	70	539.5	110	128.3	142.38
通期	4,000	△0.4	100	△23.5	100	△27.5	135	△32.9	174.73

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期	784,300株	2025年3月期	784,300株
② 期末自己株式数	2026年3月期	11,701株	2025年3月期	11,603株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	772,641株	2025年3月期	772,705株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 貸借対照表 .....	5
(2) 損益計算書 .....	7
(3) 株主資本等変動計算書 .....	8
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(持分法損益等) .....	11
(セグメント情報) .....	11
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12
4. その他 .....	13
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国経済は、年初からの米国の関税率引上げの影響に加えて日中関係悪化並びに円安の進行による物価上昇や景気低迷への懸念が強まる状況が続いていました。更に中東地域の不安定化によって原油価格が急騰し、エネルギーコストの増加を通じて経済活動が鈍化する懸念が強まるなど不透明な状況が続いていました。

このような経済状況の中で、当社は積極的な営業展開を行い部材や購入品などのコストアップ要因を適切に価格に反映させる取組みを推進してまいりました。また、社内での工程進捗管理を密に行ってまいりました。その結果、当事業年度の受注高は4,505百万円（前年同期比8.5%増）、売上高は4,016百万円（前年同期比17.8%減）となりました。損益については、営業利益130百万円（前年同期比44.6%減）、経常利益137百万円（前年同期比43.7%減）、当期純利益201百万円（前年同期比9.0%減）となりました。

以下主なセグメントの業績についてご説明申し上げます。

#### （電源機器）

電源機器につきましては、電池業界、電子部品業界及び自動車関連業界などを中心に、様々なニーズにお応えすることで受注確保に取り組んでまいりました。その結果、受注高は1,474百万円（前年同期比16.2%増）、売上高は1,508百万円（前年同期比5.9%増）となりました。

今後につきましては、カーボンニュートラルの実現に寄与するインバータ方式の電源や小型電源の更なる改良を進めるとともに、汎用型電源の拡販に力を入れ、受注・売上の確保に努めてまいります。

#### （表面処理装置）

表面処理装置につきましては、自動車関連業界、半導体関連業界などを中心に、新規・更新需要及び既存装置の改修需要にお応えすることに注力してまいりました。その結果、受注高は1,929百万円（前年同期比6.1%増）となりましたが、売上高は前期に大型物件を複数納入した影響により1,541百万円（前年同期比38.0%減）となりました。

今後につきましては、引続き新規案件の受注確保及びIoT技術を活用した予防保全システムであるCCCS-M（当社製品名）の提案や既存装置の改修の掘り起こしに注力して受注・売上の確保に努めてまいります。

#### （電気溶接機）

電気溶接機につきましては、自動車関連業界を中心に新規及び更新需要の掘り起こしに注力してまいりました。その結果、受注高は691百万円（前年同期比4.8%増）となりましたが、期初の受注残高が少なかった影響により売上高は573百万円（前年同期比12.5%減）となりました。

今後につきましては、新機能を搭載した溶接制御装置であるCK5（当社製品名）及び新型コンデンサ式溶接機の市場投入により、更なる受注・売上の確保に努めてまいります。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて4.2%減少し3,593百万円となりました。これは、主として売掛金が151百万円増加したものの、現金及び預金が411百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて35.0%増加し1,700百万円となりました。これは、主として工場建替などにより建物(純額)が637百万円増加したことによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて5.7%増加し5,293百万円となりました。

## (負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて5.7%減少し2,161百万円となりました。これは、主として電子記録債務が171百万円減少したことによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて61.9%増加し582百万円となりました。これは、主として長期借入金が243百万円増加したことによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて3.4%増加し2,744百万円となりました。

## (純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて8.2%増加し2,549百万円となりました。これは、主として利益剰余金が168百万円増加したことによります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は期首時点に比べて411百万円減少し954百万円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、支出は299百万円(前年同期は収入530百万円)となりました。

収入の主な内訳は、税引前当期純利益186百万円、契約負債の増加額38百万円などであり、支出の主な内訳は、仕入債務の減少額138百万円、前渡金の増加額133百万円、売上債権の増加額75百万円などによるものであります。

## (ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、支出は460百万円(前年同期は支出203百万円)となりました。

収入の主な内訳は、投資有価証券の売却による収入56百万円であり、支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出508百万円によるものであります。

## (ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、収入は348百万円(前年同期は支出26百万円)となりました。

収入の主な内訳は、長期借入れによる収入300百万円、短期借入金の増加額100百万円などであり、支出の主な内訳は、配当金の支払額32百万円、長期借入金の返済による支出18百万円によるものであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2025年3月期	2026年3月期
自己資本比率(%)	47.0	48.2
時価ベースの自己資本比率(%)	18.5	19.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	1.4	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	69.7	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに算出しております。

2 キャッシュ・フローは営業キャッシュ・フローを利用しております。

3 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としておりません。

4 算出の結果、数値がマイナスの場合は「—」で表記しております。

#### (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、中東情勢の緊迫化による原油、石油関連製品の価格高騰及びインフレ抑制のための金利上昇懸念などから下振れリスクも想定され、先行き不透明な状況が見込まれます。更に国内においては、一部の石油関連製品の供給懸念により生産・出荷調整が顕在化するなど、先行き不透明感が強まり、製造業においては設備投資に対する慎重姿勢が強まることが懸念されます。

しかしながら、このような経済環境の中でも、労働人口減少で人手不足が叫ばれる中、生産性改善に向けた省人化投資、AI・デジタル化投資、カーボンニュートラルの実現に向けた設備更新など、国内製造業の設備投資は一定の割合で需要はあると判断しております。

当社の次期の見通しとしましては、厳しい受注環境が予想される中で期内受注・売上案件の掘り起こしに注力するとともに、大型案件の収益を悪化させない取組みを実施してまいります。また中期的には既存製品を成長製品に進化させる取組みなどを今後の重要課題と捉えて取組んでまいります。

以上のことを踏まえ、次期の業績予想につきましては、売上高4,000百万円、営業利益100百万円、経常利益100百万円、当期純利益135百万円を見込んでおります。また、株主への利益還元につきましては、経営上の重要な政策の一つと位置付けており、配当性向を高めることを考慮しながら、内部留保にも意を用いつつ、安定的且つ、継続的な配当を実施していくことを基本方針としております。こうした基本方針を踏まえ、次期の剰余金の配当につきましては、会社創立90周年の記念配当20円を含み1株につき55円とする予定であります。

なお、上記の業績予想及び剰余金の配当予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値とは異なる可能性があります。

#### (5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,366,109	954,901
受取手形	56,289	5,361
電子記録債権	551,279	527,070
売掛金	568,926	719,962
商品及び製品	125,067	100,292
仕掛品	914,665	937,010
原材料及び貯蔵品	154,621	129,105
前渡金	-	133,000
前払費用	2,149	6,111
その他	13,458	82,593
貸倒引当金	△1,800	△1,900
流動資産合計	3,750,767	3,593,510
固定資産		
有形固定資産		
建物	818,860	1,285,536
減価償却累計額	△731,283	△560,287
建物(純額)	87,577	725,248
構築物	41,681	86,972
減価償却累計額	△38,779	△40,092
構築物(純額)	2,902	46,880
機械及び装置	180,344	200,115
減価償却累計額	△164,165	△165,339
機械及び装置(純額)	16,178	34,775
車両運搬具	17,666	16,302
減価償却累計額	△15,792	△15,322
車両運搬具(純額)	1,873	979
工具、器具及び備品	331,141	318,810
減価償却累計額	△309,219	△297,091
工具、器具及び備品(純額)	21,922	21,718
土地	108,730	108,730
建設仮勘定	283,221	2,017
有形固定資産合計	522,405	940,350
無形固定資産		
ソフトウェア	16,619	6,554
電話加入権	2,990	2,990
無形固定資産合計	19,609	9,544
投資その他の資産		
投資有価証券	317,921	344,513
破産更生債権等	6,410	687
長期前払費用	805	4,073
前払年金費用	235,711	262,253
その他	162,628	139,516
貸倒引当金	△6,410	△687
投資その他の資産合計	717,066	750,356
固定資産合計	1,259,081	1,700,251
資産合計	5,009,849	5,293,761

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	48,944	7,104
電子記録債務	358,921	187,836
買掛金	147,721	222,280
短期借入金	740,000	840,000
1年内返済予定の長期借入金	-	37,504
未払金	22	17,283
未払費用	288,065	250,790
未払法人税等	53,334	-
契約負債	513,411	551,636
預り金	6,774	7,129
製品保証引当金	21,579	32,850
その他	114,453	7,371
流動負債合計	2,293,228	2,161,787
固定負債		
長期借入金	-	243,744
繰延税金負債	82,316	63,985
退職給付引当金	199,573	196,831
資産除去債務	2,298	2,298
その他	75,743	75,743
固定負債合計	359,932	582,603
負債合計	2,653,161	2,744,390
純資産の部		
株主資本		
資本金	503,000	503,000
資本剰余金		
資本準備金	225,585	225,585
資本剰余金合計	225,585	225,585
利益剰余金		
利益準備金	112,229	112,229
その他利益剰余金		
特別積立金	450,000	450,000
繰越利益剰余金	914,187	1,083,025
利益剰余金合計	1,476,417	1,645,255
自己株式	△17,076	△17,198
株主資本合計	2,187,926	2,356,642
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	168,761	192,728
評価・換算差額等合計	168,761	192,728
純資産合計	2,356,687	2,549,370
負債純資産合計	5,009,849	5,293,761

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	4,889,254	4,016,813
売上原価		
製品期首棚卸高	198,505	125,067
当期製品製造原価	3,578,761	2,908,393
合計	3,777,266	3,033,461
製品期末棚卸高	125,067	100,292
売上原価合計	3,652,199	2,933,168
売上総利益	1,237,054	1,083,644
販売費及び一般管理費	1,001,250	953,010
営業利益	235,804	130,634
営業外収益		
受取利息	17	91
受取配当金	9,155	10,694
保険配当金	2,235	2,252
スクラップ売却益	3,339	2,943
補助金収入	-	2,439
その他	2,297	2,821
営業外収益合計	17,045	21,242
営業外費用		
支払利息	7,612	13,880
その他	0	15
営業外費用合計	7,612	13,896
経常利益	245,237	137,980
特別利益		
投資有価証券売却益	38,394	51,238
特別利益合計	38,394	51,238
特別損失		
固定資産処分損	986	3,193
特別損失合計	986	3,193
税引前当期純利益	282,645	186,026
法人税、住民税及び事業税	48,914	10,845
法人税等調整額	12,523	△26,110
法人税等合計	61,438	△15,265
当期純利益	221,207	201,291

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本									
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計		
						特別積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	503,000	225,585	—	225,585	112,229	450,000	720,026	1,282,255	△17,025	1,993,815
当期変動額										
剰余金の配当							△27,045	△27,045		△27,045
当期純利益							221,207	221,207		221,207
自己株式の取得									△50	△50
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)										
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	194,161	194,161	△50	194,110
当期末残高	503,000	225,585	—	225,585	112,229	450,000	914,187	1,476,417	△17,076	2,187,926

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	206,837	206,837	2,200,652
当期変動額			
剰余金の配当			△27,045
当期純利益			221,207
自己株式の取得			△50
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△38,075	△38,075	△38,075
当期変動額合計	△38,075	△38,075	156,034
当期末残高	168,761	168,761	2,356,687

当事業年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本									
	資本金	資本剰余金			利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計	自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		特別積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	503,000	225,585	—	225,585	112,229	450,000	914,187	1,476,417	△17,076	2,187,926
当期変動額										
剰余金の配当							△32,453	△32,453		△32,453
当期純利益							201,291	201,291		201,291
自己株式の取得									△121	△121
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)										
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	168,838	168,838	△121	168,716
当期末残高	503,000	225,585	—	225,585	112,229	450,000	1,083,025	1,645,255	△17,198	2,356,642

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	168,761	168,761	2,356,687
当期変動額			
剰余金の配当			△32,453
当期純利益			201,291
自己株式の取得			△121
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	23,966	23,966	23,966
当期変動額合計	23,966	23,966	192,683
当期末残高	192,728	192,728	2,549,370

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	282,645	186,026
減価償却費	51,456	80,655
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	7,223	△5,623
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,179	△2,742
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△16,120	11,270
前払年金費用の増減額 (△は増加)	37,483	△26,542
受取利息及び受取配当金	△9,172	△10,786
支払利息	7,612	13,880
固定資産処分損益 (△は益)	986	3,193
投資有価証券売却損益 (△は益)	△38,394	△51,238
売上債権の増減額 (△は増加)	251,720	△75,900
棚卸資産の増減額 (△は増加)	69,124	27,006
前渡金の増減額 (△は増加)	105,000	△133,000
仕入債務の増減額 (△は減少)	△208,679	△138,364
契約負債の増減額 (△は減少)	△41,860	38,224
その他	45,843	△144,305
小計	547,049	△228,247
利息及び配当金の受取額	9,172	10,786
利息の支払額	△7,903	△15,305
法人税等の支払額	△17,713	△67,163
営業活動によるキャッシュ・フロー	530,604	△299,929
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の売却による収入	42,512	56,730
投資有価証券の取得による支出	△322	△335
有形固定資産の取得による支出	△244,890	△508,713
その他	△319	△7,866
投資活動によるキャッシュ・フロー	△203,018	△460,185
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	100,000
長期借入れによる収入	-	300,000
長期借入金の返済による支出	-	△18,752
自己株式の取得による支出	△50	△121
配当金の支払額	△26,816	△32,219
財務活動によるキャッシュ・フロー	△26,867	348,906
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	300,717	△411,208
現金及び現金同等物の期首残高	1,065,391	1,366,109
現金及び現金同等物の期末残高	1,366,109	954,901

## (5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社が有している関連会社は、利益基準及び利益剰余金基準において重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(セグメント情報)

## 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に営業・技術・製造の各部門ごとにそれぞれ製品群別の担当課を配置し、各部門の担当課の連携で、取扱う製品に対する国内及び海外の包括的な戦略を立案し、製品系列別強化会議などを通じて、事業活動を展開しております。

従って、当社は取扱う製品群別に構成する担当課の組織体制を基礎とした製品別のセグメントから構成されており、「電源機器」、「表面処理装置」、「電気溶接機」の3つを報告セグメントとしております。

「電源機器」は、表面処理に用途の多い直流電源装置をはじめ、各種電源装置などの製造販売をしております。

「表面処理装置」は、キャリア式やエレベータ式の全自動表面処理装置をはじめ、顧客のニーズに対応した表面処理装置の製造販売をしております。「電気溶接機」は、汎用型の電気抵抗溶接機をはじめ、コンデンサスポット溶接機・直流型スポット溶接機・NC付きマルチスポット溶接機及びそれらの制御装置などの製造販売をしております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	財務諸表計 上額 (注3)
	電源機器	表面処理装 置	電気溶接機	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,424,417	2,485,430	656,053	4,565,901	323,352	4,889,254	—	4,889,254
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,424,417	2,485,430	656,053	4,565,901	323,352	4,889,254	—	4,889,254
セグメント利益	391,815	553,306	167,645	1,112,767	117,914	1,230,682	△994,877	235,804
セグメント資産	1,020,924	725,304	382,325	2,128,554	242,294	2,370,849	2,638,999	5,009,849

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、試験装置、計測器などが含まれております。

2 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△994,877千円は、各報告セグメントに配分していない一般管理費などであり  
ます。

(2) セグメント資産の調整額2,638,999千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり  
ます。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金及び本社建物、土地であります。

3 セグメント利益は、財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当事業年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	財務諸表計 上額 (注3)
	電源機器	表面処理装 置	電気溶接機	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,508,685	1,541,823	573,783	3,624,291	392,521	4,016,813	—	4,016,813
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,508,685	1,541,823	573,783	3,624,291	392,521	4,016,813	—	4,016,813
セグメント利益	403,874	400,106	111,173	915,153	132,426	1,047,579	△916,945	130,634
セグメント資産	839,448	778,062	465,559	2,083,070	335,733	2,418,803	2,874,958	5,293,761

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、試験装置、計測器などが含まれております。

2 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△916,945千円は、各報告セグメントに配分していない一般管理費などであり  
ます。

(2) セグメント資産の調整額△2,874,958千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり  
ます。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金及び本社建物、土地であります。

3 セグメント利益は、財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	3,049.95円	3,299.73円
1株当たり当期純利益	286.28円	260.52円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益(千円)	221,207	201,291
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	221,207	201,291
普通株式の期中平均株式数(千株)	773	773

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. その他

## (1) 生産、受注及び販売の状況

生産、受注及び販売の状況(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

## ①生産実績

当事業年度における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
電源機器	1,251,638	△15.3
表面処理装置	1,674,447	△31.2
電気溶接機	650,475	6.3
その他	468,874	36.1
合計	4,045,435	△16.9

(注) 1 金額は、販売価格によっております。

## ②受注実績

当事業年度における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
電源機器	1,474,146	16.2	813,453	△4.1
表面処理装置	1,929,484	6.1	1,687,429	29.8
電気溶接機	691,357	4.8	310,463	61.0
その他	410,131	1.2	252,336	7.5
合計	4,505,120	8.5	3,063,683	19.0

## ③販売実績

当事業年度における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
電源機器	1,508,685	5.9
表面処理装置	1,541,823	△38.0
電気溶接機	573,783	△12.5
その他	392,521	21.4
合計	4,016,813	△17.8